

管理サーバの IP アドレス(ホスト名)変更手順

対応バージョン

SSC2.0

概要

管理サーバのIPアドレス (ホスト名) を変更する場合の、設定変更手順を記載します。

#本文では、IPアドレス変更手順について記載しておりますので、

#ホスト名変更の場合は、IPアドレスをホスト名に読み替えてください。

【SystemProvisinoning】

同一ネットワークセグメント内の IP アドレス変更する場合は、Web コンソールにて [管理] - [サブシステム] に管理サーバの IP アドレスが登録されているときは、変更する IP アドレスに設定してください。

異なるネットワークセグメントの IP アドレスに変更する場合は、グループで稼働している管理対象マシンをメンテナンスモード設定後、同一ネットワークセグメント内での IP アドレスの変更と同様の手順を行ってください。IP アドレス変更の操作が終わりましたら、メンテナンスモードを解除してください。

【SystemMonitor 性能監視】

管理サーバの IP アドレス変更に対する影響については、SystemMonitor 性能監視 管理コンソールに設定されている管理サーバや監視対象マシンのホスト名として IP アドレスが設定されている場合は、変更後の IP アドレスに設定変更を行う必要があります。

【管理コンソールの設定】

SystemMonitor 性能監視 管理コンソールの設定で、管理コンソールの情報のホスト名として管理サーバの IP アドレスで登録している場合は、設定変更を行ってください。

- 1) メインメニューの [ツール] - [管理コンソール情報] を選択してください。
- 2) [管理コンソール情報] ダイアログの [ホスト名] を確認し、必要に応じて変更してください。
- 3) [OK] をクリックしてください。

管理サーバ、SystemMonitor 性能監視 管理コンソールを利用していない場合は、本指定は必要ありません。

【管理サーバの接続設定】

SystemMonitor 性能監視 管理コンソールに登録されている管理サーバの IP アドレスが変更される場合は、管理サーバの設定を一旦削除後、変更後の IP アドレスで管理サーバを登録してください。

- 1) メインウィンドウのツリー上で古い IP アドレスで登録されている管理サーバを右クリックし、メニューから [管理サーバ登録削除] を選択してください。
- 2) メインメニューの [ツール] - [管理サーバの追加登録] を選択してください。
- 3) [管理サーバ] ダイアログが表示されますので、新しい IP アドレスを設定後、[OK] をクリックしてください。

[SystemProvisioning の接続設定]

SystemMonitor 性能監視に登録されている SystemProvisioning 管理サーバ名として、変更された管理サーバの IP アドレスを指定している場合、設定の変更が必要です。

- 1) メインウィンドウのツリー上で管理サーバを右クリックし、メニューから [環境設定] を選択します。
- 2) [環境設定] ダイアログの [SystemProvisioning] タブの [SystemProvisioning 管理サーバ名] を確認し、必要に応じて変更してください。
- 3) [OK] をクリックしてください。

SystemProvisioning 構成情報の反映機能や SystemProvisioning への性能異常通報機能を利用しない場合は、本指定は必要ありません。

[サーバの接続設定]

SystemMonitor 性能監視に登録されている監視対象マシンとして、管理サーバも登録している場合には、設定の変更が必要です。

- 1) メインウィンドウのツリー上でマシン名を右クリックし、メニューから [マシン設定] を選択します。
- 2) [マシン設定] ダイアログが表示されるので、[マシン名] と [IP アドレス] を確認し、必要に応じて変更してください。
- 3) [OK] をクリックしてください。

詳細は、SystemMonitor 性能監視ユーザーズガイドを参照してください。

【DeploymentManager】

【管理サーバ for DPM】

DeploymentManager の管理サーバの IP アドレスを変更する際の手順は、「DeploymentManager ユーザーズガイド 基本操作編(Basic Operation)」に記載しておりますので、マニュアルを参照してください。

例として、「詳細設定」画面の [全般] タブの「IP アドレス」に ANY 以外を選択している場合のポイントを記載します。

- 1) CD-ROM 内の¥TOOLS¥IP¥RegSet1.reg を実行します。
- 2) 管理サーバの IP アドレスを変更します。
- 3) Web コンソールから IP アドレスを変更した管理サーバを削除し変更後の IP アドレスで管理サーバを追加した後、設定作業します。
- 4) CD-ROM 内の¥TOOLS¥IP¥RegSet2.reg を実行します。
- 5) Web コンソールから管理対象コンピュータにシャットダウン、またはシナリオ実行します。

【Web サーバ for DPM】

Web サーバ for DPM については、特に設定は必要ありません。

【クライアントサービス for DPM】

クライアントサービス for DPM については、特に設定は必要ありません。

【データベースサーバ】

データベースをインストールしたサーバの IP アドレスを変更する際の手順は、「DeploymentManager ユーザーズガイド 基本操作編 (Basic Operation)」に記載しておりますので、マニュアルを参照してください。

【ESMPRO/ServerManager】

管理サーバの IP アドレスを変更した場合、ESMPRO Manager では以下の設定が必要となります。

【ESMPRO Manager がインストールされている管理サーバの設定変更項目】

マネージャ間通信を使用している場合、IP アドレスを変更した Manager マシンとマネージャ間通信を行っている、相手 Manager マシン上の統合ビューアの設定を以下の手順で変更してください。

統合ビューアのメニュー

[オプション]

[カスタマイズ]

[マネージャ間通信] を選択します。

画面に設定されている相手マネージャの IP アドレスを新しい IP アドレスに変更してください。

【ServerAgent がインストールされている管理対象サーバの設定変更項目】

高信頼性通報に Manager マシンの IP アドレス / ホスト名を指定している場合、設定画面を開いて、再設定してください。

- 変更された IP アドレスを設定し、[OK] で設定画面を閉じてください。
- ホスト名を指定している場合でも、新しい IP アドレスとホスト名を連携させるために、一度設定画面を開いて [OK] で設定画面を閉じてください。

SNMP トラップの下記設定で Manager マシンの IP アドレスを設定している場合、変更された IP アドレスで再度設定を行ってください。

- ・ SNMP Trap 送信先に Manager マシンの IP アドレスを指定している場合。
- ・ SNMP サービスのセキュリティ設定にて「これらのホストから SNMP パケットを受け付ける」に Manager マシンの IP アドレスを指定している場合。

【ESMPRO/SA(VMware)の設定変更】

SNMP 通報手段を使用している場合は、「通報基本設定」画面の通報手段一覧から「マネージャ通報(SNMP)」を選択して表示される、「SNMP トラップ設定」画面にてトラップ送信先を変更してください。

SNMP 通報手段以外を使用している場合は、「通報先リストの設定」を選択して表示される「通報先リストの設定」画面にて通報先を変更してください。

通報設定変更は、コントロールパネル (ESMamsadm) から行ってください。

コントロールパネル (ESMamsadm) の起動方法

- 1) root 権限のあるユーザでログインします。
- 2) ESMPRO/ServerAgent がインストールされているディレクトリに移動します。

```
# cd /opt/nec/esmpro_sa
```

- 3) ESMamsadm が格納されているディレクトリに移動します。

```
# cd bin
```

4) コントロールパネル (ESMamsadm) を起動します。

```
# ./ESMamsadm
```

以下のファイルにて、snmpd に対して IP アドレスによるアクセス制限を行っている場合は、IP アドレス変更などの設定変更をしてください。

```
/etc/snmp/snmpd.conf
```

```
/etc/hosts.allow, hosts.deny
```

【SigmaSystemCenter 管理サーバの IP アドレス変更後の注意点】

SigmaSystemCenter 管理サーバの IP アドレスの変更を行う場合、クライアント for DPM の設定や SNMP Trap 送信先など、管理対象マシンでの設定変更が必要となります。

この場合、DeploymentManager によるバックアップイメージの再取得作業を行うこととなりますので、作業日程を確保し、計画的に実施していただくことを強く推奨いたします。

作成日:2008/06/30

最終更新日:2010/12/22